

2021年9月8日

アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会

アジア13の国・地域から選ばれた起業家が競うイノベーション・アワード
「アジア・アントレプレナーシップ・アワード(AEA) 2021」 出場企業30社決定
協業実現に向けスタートアップのコミュニティや1.5か月のメンタリングなどを実施
2021年10月27日(水)～28日(木)全編オンライン開催

アジア・アントレプレナーシップ・アワード(以下:AEA)運営委員会は、2012年より毎年開催している、成長著しいアジアのスタートアップによるイノベーション・アワード「AEA2021」を、2021年10月27日(水)～28日(木)に開催いたします。

第10回開催となる今回は、これからの世界において重要な3つのテーマ「ヘルスケア」「ワーク&ライフスタイル リフォーム」「サステナビリティ」に関連したソリューションを持つ、アジア各国・地域から選ばれた技術系スタートアップ30社が参加します。各社、事業の革新性、経済的・社会的影響力、事業実行力、そして日本企業との連携・日本での事業展開の可能性など、広い観点での審査を経て、グランプリを目指します。イベントはすべてオンラインで開催されます。

AEA2021のポイント

- ・各国の専門家推薦の技術系スタートアップが参加。過去参加企業も含むマッチング機会多数
- ・開催前約1.5ヶ月間で日本企業との協業に向け、出場企業に対するメンタリングを実施
- ・最先端のスマートシティ柏の葉を実証フィールドとして協業のファーストステップに
- ・グラミン銀行創設者/ノーベル平和賞受賞者 ムハマド・ユヌス博士による基調講演

イベント詳細はこちら: <https://aea2021online.peatix.com/>



各国の専門家推薦の技術系スタートアップが参加。過去参加企業も含むマッチング機会多数

AEAは、JETROや東京大学の他、アジア各地のインキュベーター、アクセラレーター、大学等のスタートアップ支援機関など、専門家が見極めた確かな技術力を持ったスタートアップが集まり、社会課題解決に繋がるビジネスアイデアを競い合い、披露するショーケースです。2012年の初開催からこれまで、アジア14の国・地域から217社の技術系スタートアップがAEAに参加しました。過去出場企業は、その後IPOやM&AなどのEXITを達成し、事業を大きく成長させています。

AEAでは、アジアのスタートアップと日本企業の協業の機会も提供しており、これまでもAEAでの出会いをきっかけに連携につながった事例もあります。初のオンライン開催となった昨年も、出場企業と協賛・一般参加の日本企業の間で、51件のマッチング、31件のオンライン面談が実現しています。

今年は協業に向けたネットワーキングの他、新たにビジネス用SNSアプリ「slack」を用いて、200社以上の歴代出場企業をはじめ、日本企業、スポンサー企業、海外のノミネーター等が参加するネットワークをオンライ

ンコミュニティ化し運営を開始します。コミュニティに参加した日本企業は、スタートアップと直接のやり取りができるほか、海外ノミネーターとのリレーション構築や、スタートアップに対しての自社の取り組みなどの発信などができるようになり、イベント終了後も継続的な協業の機会が提供されます。
※オンラインコミュニティへの参加には条件があります。詳細は運営委員会にお問合せください。

<協業事例>

- Visenze(AEA2017、シンガポール): AIによる画像検索/画像認識ソリューション
三井不動産「Mitsui Shopping Park &mall」にて採用
参考: https://www.31ventures.jp/news/20191118_fund/391/

<IPO、M&A事例>

- IPO:
 - Gauss Lasers Technology (AEA2013, 中国): 超短パルスファイバーレーザーの開発
- M&A:
 - Learn Ever (AEA2012, 日本): ソーシャルラーニングプラットフォームの開発
 - Retention.ai (AEA2015, インド): アプリユーザー獲得のためのリテンションソリューション
 - Shanghai Benqumark Network Tech. (AEA2016, 中国): 顔認証および画像編集ソリューション

開催前の約1.5ヶ月間で日本企業との協業に向け、出場企業に対するメンタリングを実施

今年は、参加するスタートアップの日本市場への進出や、日本企業との協業の実現に向けて、出場が決定してからの約1.5か月の期間で、国内VC等のメンター陣による継続的なメンタリングを実施します。スタートアップは日本市場に対する理解を深めた上で、日本市場に向けたビジネスプランをブラッシュアップしアワード当日のプレゼンテーションが実施されます。それにより当日視聴する方も具体的な事業連携のイメージをよりつかみやすくなります。

最先端の「柏の葉スマートシティ」を実証フィールドとして協業のファーストステップに

AEAの舞台となる柏の葉エリアは、課題解決型の街づくりモデルを具現化する「柏の葉スマートシティ」として、「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3つのテーマで街づくりを推進してきました。柏の葉では2019年から、まち全体を実証プロジェクトのプラットフォームとし、新産業創造を加速させる「イノベーションフィールド 柏の葉」が始動しており、様々な企業や団体が実証実験プロジェクトを実施しています。これまでAEAに出場した企業も、柏の葉での実証から導入、さらには出資までつながった事例もあります。AEA出場企業に対しては日本進出のファーストステップを、日本企業向けにはスタートアップとの協業における柏の葉の実証フィールドの利活用をご支援いたします。

<柏の葉を実証フィールドとした協業事例>

- ゲノムクリニック(AEA2017、日本): 乳がん・卵巣がん遺伝子リスク判定ソリューション
三井不動産が運営する KOIL内にゲノムセンターを開設
参考: <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2019/0425/>
- ヒラソルエナジー(AEA2018、日本): 太陽光発電設備を保守管理するIoTプラットフォーム
柏の葉エリアの太陽光パネル2,800枚に対して保守管理の運用開始、その後、三井不動産CVCより出資
参考: https://www.31ventures.jp/news/20210831_column/781/

グラミン銀行創設者/ノーベル平和賞受賞者 ムハマド・ユヌス博士による基調講演

ムハマド・ユヌス博士は、バングラデシュにて貧困層の自立支援のために無担保少額融資(マイクロクレジット)を行うグラミン銀行を創設し、同国の貧困撲滅と平和構築に貢献した功績がたたえられ、2006年にノーベル平和賞を受賞しました。また「ユヌス・スポーツハブ」の取り組みを通じ、東京オリンピック2020において、「オリンピック栄誉賞」を受賞されました。今回AEA10周年を記念し、ユヌス博士の提唱するユヌス・ソーシャル・ビジネスの在り方、そしてこれからの時代に必要となるリーダーシップについて、起業家や企業の方々へメッセージをいただき、副賞として「ユヌス・ソーシャル・ビジネス賞」を新設いたします。今後はAEAを通じてユヌス・ソーシャル・ビジネスも推進していくことを目指します。



■AEA2021 開催概要

日程	2021年10月27日(水)～28日(木)
開催形式	全編オンライン開催
公用語	英語 ※28日のプログラムには同時通訳が入ります
公式HP	https://aea.events/j/ (日本語) https://aea.events/e/ (英語)
参加申し込みURL	https://aea2021online.peatix.com/
参加費	無料
スポンサーシッププログラムへのお問合せ	info@aea.events
主催	アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会
共催	国立大学法人東京大学産学協創推進本部 三井不動産株式会社 一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 日本ベンチャー学会 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)

■主な参加対象

- ・(一般聴講)アジア各国・地域の技術系スタートアップによるイノベーションにご関心のある方
- ・(アジア各国・地域の技術系スタートアップとのマッチングをご希望の方)
各スタートアップとの協業・連携を検討する、企業の新規事業担当者の皆様
- ・VC・CVC、その他投資家の皆様

■プログラム ※プログラムは予告なく変更される場合がございます。

DAY1: 10月27日(水)

13:00-14:00 主催者挨拶・オリエンテーション

14:00-17:00 セミファイナルセッション

グループに分かれ、10分間のプレゼンの後、15分間の質疑応答を行います。

各グループの審査を勝ち抜いたスタートアップのみがファイナルセッションへの出場権を手に入れます。

DAY2: 10月28日(木) ※日本語の同時通訳が入ります

13:00-16:00 ファイナル進出企業発表・ファイナルセッション

セミファイナルを勝ち抜いた6社のファイナリストが決定。

プレゼン10分+質疑応答15分を行い、入賞企業が決まります。

16:00-18:30 AEA10周年コンテンツ

AEAのこれまでの歴史や、今後の取り組みについてご紹介。

また、ムハマド・ユヌス博士の基調講演や成功した過去出場企業の講演等をご用意しております。

18:30-19:00 ファイナル結果発表

■出場企業一覧

アジア各地のインキュベーター、アクセラレーター、大学等のスタートアップ支援機関からの推薦により、今、アジアで最も勢いのある技術系スタートアップが集結し、本戦に臨みます。

詳細はこちらをご覧ください: <https://aea.events/j/>

#	国・地域	企業名	事業概要
1	Bangladesh	Ghost Kitchen Bangladesh	Webプラットフォームを用いて顧客、飲食店、デリバリーパートナー等をつなぐ飲食店支援ソリューション
2	Cambodia	Peth Yoeung Healthtech	医療記録や患者データ等を対象とする、クラウドベースでの病院管理プラットフォーム
3	China	AirGuard Industries (HK) Limited	植物由来の空気浄化技術を活用した室内空気品質に対するクリーンエアアズサービス
4	China	Shenzhen Bixuange Technology Co., Ltd.	気温・騒音等の室内情報の正確な測定が可能なIoTデバイス、および都市などの大規模地域を対象とする風洞シミュレーション

5	India	Cartosense Pvt Ltd	ミリ単位の精度で外科手術中に器具を追跡し、患者のMRI/CT画像に対する位置と軌道をリアルタイムに反映するナビゲーションシステム
6	India	Dimensionless Technologies Pvt. Ltd.	保安検査上でのX線検査や電子商取引の偽装/不正検知などの人が行う検査作業の効率化に特化したAIソリューション
7	India	Immunoadoptive Cell Therapy (ImmunoACT) Private Limited	独自に開発したヒト化CAR-T細胞の特定種のがん治療法への活用
8	India	Karmasthal Healthtech Private Limited	IoT・リアルタイムレポートによる高齢者ケアソリューション
9	India	Plutomen Technologies Pvt. Ltd.	生産現場における生産性向上などを実現するARベースでのリモートアシスタンスソリューション
10	India	Sparcolife Digital Healthcare Technologies Private Limited	リプロダクティブヘルスに関する行動やメンタルヘルスの問題を解決するためのデジタルプラットフォーム
11	India	SynerSense Pvt. Ltd.	医療やスポーツなどの現場における体の動きを捉えるウェアラブルマルチセンサーとポータブル歩行分析システム
12	Japan	LIFEFORM AI	IoTクッション「LifeChair」を活用した職場・家庭での健康的な習慣を実現するIoTプラットフォーム
13	Japan	Onikle Inc.	AIレコメンデーションにより検索時間を大幅に削減する科学者向け論文検索サービス
14	Japan	Red Arrow Therapeutics Inc.	薬物動態、生体内分布、疾患部位での標的活性化を最適化した独自技術によるプロドラッグタンパク質の生成
15	Malaysia	IHANDAL ENERGY SOLUTIONS SDN BHD	CO2、NH3、R290を使用する自然冷媒ヒートポンプによる商業/工業用の熱回収ソリューション
16	New Zealand	Tectonus Limited	地震の際に構造物の中心を再配置する機能を持った新築・改修の両方に対応可能な建築物用/液体貯蔵タンク用の制震ダンパー
17	Philippines	NANOTRONICS	既存材料に付加することで強度を向上する植物由来のナノマテリアル材料
18	Russia	Sintez LLC	AI/ARなどのテクノロジーを活用したテニスやゴルフなどのスポーツ指導用ソフトウェアプラットフォーム
19	Singapore	AI Communis Pte. Ltd	自動音声認識時技術を活用した動画コンテンツ制作者向けのキャプション作成、字幕挿入等のポストエディット作業簡素化SaaSソリューション
20	Singapore	Ampotech Pte Ltd	IoTデバイス・AIを活用したソフトウェアを利用したオフィスビルなどの施設における電力使用量モニタリングソリューション
21	Singapore	Craft Health Pte Ltd	個別化医療等に活用可能な、栄養補助食品や医薬品に特化したGMP対応製剤用3Dプリンティングソリューション
22	Singapore	Widuz Pte Ltd	モジュラー型のプレハブ建築に適した再生/持続可能かつ木材を上回る竹の繊維由来の新たな建築素材
23	Taiwan	DotSpace Biomedical Inc.	侵襲プロセスを最小限にするカプセル型圧力センサーによるリアルタイムの無線腹腔内高血圧モニタリングシステム
24	Taiwan	KURA Care Inc.	心臓病患者に特化した効果的な健康管理を可能にするAI遠隔医療ソリューション
25	Taiwan	Smart Tag Inc.	製造ラインのモニタリングを実現する既存デバイスの表面に貼り付けるだけで使用可能なフレキシブルワイヤレスIoTセンサー
26	Taiwan	ucfunnel Co., Ltd.	トレーディングデスク、画像検索アプリ、ECLレコメンデーション等の機能を含む、AIを活用したデジタルマーケティングソリューション
27	Thailand	ADVANCED GREENFARM	高タンパク質と必須ミネラル、ビタミンを含む栄養を持つウォルフィアの生産とスーパーフードとしての提供
28	Thailand	Arcadian Eco Co., Ltd.	薬品を使わずに化学反応を促進させる特殊な酸化酵素とマイクロナノバブルを使用した排水処理システム
29	Thailand	More Foods Innotech Co., Ltd.	従来よりも低塩・低糖であり健康に配慮された植物肉
30	Vietnam	Biomass Lab	製紙スラッジを加水分解することにより採取可能で、生分解性・高耐久性・無毒性など様々な特性を持つバクテリアセルロースの活用

■協賛・後援一覧

<協賛>(五十音順 ※順次追加されます)

特別協賛	株式会社日本経済新聞社、日本マイクロソフト株式会社
プラチナ スポンサー	グローバル・ブレイン株式会社/日本ベンチャーキャピタル株式会社/株式会社日立製作所
ゴールド スポンサー	大成建設株式会社/トッパン・フォームズ株式会社/株式会社東京大学 エッジキャピタルパートナーズ
シルバー スポンサー	株式会社 IP Bridge/小松マテレー株式会社/3Hクリニカルトライアル株式会社/株式会社銭高組/大和ハウス工業株式会社/東急建設株式会社/株式会社日建設計/フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社/光井純&アソシエーツ建築設計事務所株式会社/三井ホーム株式会社

<後援>

文部科学省/経済産業省/千葉県/柏市/一般社団法人日本経済団体連合会/一般社団法人日本能率協会/一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会/公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー/国立研究開発法人科学技術振興機構/ニュージーランド大使館商務部(ニュージーランド貿易経済促進庁)/一般社団法人ユヌス・ジャパン/九州大学ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター/Graduate School of Business, Ateneo de Manila University /NUS Enterprise/BLOCK71 SINGAPORE/Graduate Institute of Technology, Innovation & Intellectual Property Management, National Chengchi University/Innovation Driven Entrepreneurship Center, University of the Thai Chamber of Commerce/Foreign Trade University

■共催者 概要

<国立大学法人東京大学産学協創推進本部> [WEB]<https://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学産学協創推進本部は、東京大学のオリジナルな研究成果を活用し、インパクトの高いイノベーションを実現すべく、知的財産の権利化、管理・活用、起業・事業化に係る支援を行っています。具体的には、研究者・学生向けの起業相談、ベンチャー企業向けのインキュベーション施設の運営・管理事業、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社や株式会社東京大学エッジキャピタルを通じた大学発ベンチャー企業への資金提供などを行っています。また、「東京大学アントレプレナープラザ」「東京大学アントレプレナーラボ」等のインキュベーション施設の運営を手掛け、更には「東京大学アントレプレナー道場」「EDGE-NEXT」「本郷テックガレージ」「FoundX」などのアントレプレナー育成教育プログラムを運営しています。本アワードを通じて、グローバルな視点に立ってさらなる起業文化・アントレプレナーシップの醸成を進めてまいります。

<三井不動産株式会社> [WEB] 柏の葉スマートシティ <https://www.kashiwanoha-smartcity.com/>

三井不動産は、千葉県柏市の柏の葉キャンパス駅周辺エリアにおいて、「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3つのテーマのもと、柏の葉スマートシティ事業を進めています。新産業創造においては、ベンチャー共創事業「31 VENTURES」を中心に、三井不動産の持つ幅広い商圏と多岐にわたる事業領域をいかして、街全体で多世代・多分野・多国籍の人々がつながる新たな産業創造を目指しています。三井不動産および柏の葉スマートシティでは、2012年の立ち上げ時からAEAを支援しており、柏の葉エリアを舞台にアジアのスタートアップや大手企業・起業支援者が集まるイノベーション創造のエコシステム構築を進めてまいります。

<一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ> [WEB]<https://tepweb.jp/>

TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)は、つくばエクスプレス沿線を中心に技術をコアとするディープテック・スタートアップの支援を行う組織で、地域の大学・研究機関、行政、民間企業、個人支援者が連携して、持続可能なスタートアップ支援のエコシステム構築を推進しています。スタートアップが自国・地域内に留まらず、アジアや世界に視野を広げる機会として本アワードを立ち上げ、これまで継続開催しており、日本をはじめアジアのスタートアップ育成環境の醸成を目指します。

<日本ベンチャー学会> [WEB] <http://www.venture-ac.ne.jp/>

日本ベンチャー学会は、新産業創出にむけて、ベンチャー企業および一般企業における企業活動等について理論・実証・実践に関する研修を行うとともに、産学協同の推進および企業家活動の支援に寄与することを目的とします。単なる研究者だけの集まりではなく、大手企業、ベンチャー企業、行政関係者など多様な人々のネットワークを形成しながら、「思考する学会」であると同時に「行動する学会」としての機能を高め、イノベーションの創出を担う企業家活動やベンチャーに関わる社会的なプラットフォームとなることを目指しております。

<独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)> [WEB] <https://www.jetro.go.jp/>

ジェトロは、55カ国76の海外事務所および52の国内拠点から成るグローバルなネットワークをフルに活用し、貿易・投資促進や調査・研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することを目指しています。近年は、日本のスタートアップエコシステム育成やイノベーション創出に向けた取組を強化しており、日本のスタートアップの海外展開支援や、海外スタートアップとの連携・協業を推進しています。2019年、イノベーション促進課を新設し、オープンイノベーションに取り組む日本企業と海外スタートアップ等との商談の機会を提供しています。

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しています。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

* なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における5つの目標に貢献しています。

目標3 すべての人に健康と福祉を

目標8 働きがいも経済成長も

目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

目標10 人や国の不平等をなくそう

目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう

